

1999年7月22日

いすゞ 中型トラック「フォワード」シリーズのGVW10～18トンクラス
(積載量5～10トン超クラス)を改良
-平成10/11年排出ガス規制、中期ブレーキ安全規制適合-

いすゞ自動車(株)は、中型トラック「フォワード」シリーズのGVW10～18トンクラス(積載量5～10トン超クラス)を平成10/11年排出ガス規制及び中期ブレーキ安全規制に適合させるなどの改良を施し、8月19日から全国一斉に発売する。

いすゞ自動車は、4月8日に中型トラック「フォワード」のGVW8トンクラス(積載量4トンクラス)を平成10年排出ガス規制に適合させるなどの改良を施し、発売した。

今回、フォワードシリーズのGVW10～18トンについても、エンジンにより電子制御コモンレールシステムやTICS(Timing and Injection Control System)を採用し高圧燃料噴射化を実現、さらにEGRなどを採用することで、平成10/11年排出ガス規制に適合させた。また、ABS(アンチロック・ブレーキ・システム)やオートアジャスター付ブレーキなどを装備することで中期ブレーキ安全規制に適合させるとともに、SRSエアバッグ&プリテンショナー付シートベルト、衝撃吸収ステアリングホイールなどを標準装備し、更なる安全性の向上を図った。

主な特長は次の通り：

1. フォワードシリーズのGVW10～18トンクラスに、電子制御コモンレール式高圧燃料噴射システム(6HK1-TC系)やTICS(6HH1系、Timing and Injection Control System)を採用することにより更なる高圧燃料噴射を実現、また吸排気4バルブ化、中央燃焼室化、燃料噴射ノズルの小噴口・多噴口を図るとともに6HH1系にEGRを採用することで、PM、黒煙、NOxを大幅に低減し、平成10/11年排出ガス規制に適合させた。

2. GVW14～16トンクラスのFTR、GVW18トンクラスのFVZに中型トラッククラス最高の280馬力(*ネット値)を達成した6HK1-TC型エンジン搭載車を設定した。

(*ネット値とは、エンジンを車両搭載状態とほぼ同じ条件で測定した数値)

3. 運転席SRSエアバッグ&プリテンショナー付シートベルト、衝撃吸収ステアリングホイールを全車型に標準装備とし、ドライバーの安全性を向上させた。

4. タイヤロックを防止するABS(アンチロック・ブレーキ・システム)、ブレーキドラムとライニングのすき間を一定に保つオートアジャスター付ブレーキを全車型に標準装備し、中期ブレーキ安全規制に適合させた。

5.G V W 1 0 ～ 1 3. 5 トンクラスの F S R にショートキャブの「フォワード V」 (F S R - S) を新規設定した。

また併せて、低価格と高積載で好評を頂いている、G V W 8 トンクラスの「フォワード ジャストン II」 (N Q R) についても平成 1 0 年排出ガス規制に適合させ、8 月 1 9 日より発売する。

目標販売台数 :

G V W 1 0 ～ 1 8 トンクラスの『フォワード』シリーズ全体で 2,100 台/年

『フォワード ジャストン II』 200 台/年

≪ 『フォワード』シリーズ 東京地区希望小売価格 ≫ (消費税含まず)

車型	主な仕様	最大積載量	エンジン (ネット)	東京地区希望小売価格
KK-FSR34L4X4NA	木製平ボディ	5,700kg	6HK1-TCC 260 馬力	6,443,000 円
KK-FSR33L4XA	木製平ボディ	5,700kg	6HH1-S 225 馬力	5,868,000 円
KL-FTR34L4XWR	キャブ付シャシ	-	6HK1-TCS 280 馬力	7,004,000 円
KL-FVZ34S4XW	キャブ付シャシ	-	6HK1-TCS 280 馬力	8,560,000 円

『フォワード ジャストン II』 東京地区希望小売価格 (消費税含まず)

車型	主な仕様	最大積載量	エンジン (ネット)	東京地区希望小売価格
KK-NQR75LN-5PXYJ	キャブ付シャシ	-	4HK1-T 170 馬力	3,759,000 円

≪ 商品概要 ≫

[エンジンラインナップ]

1.G V W 1 4 ～ 1 6 トンクラスの F T R、G V W 1 8 トンクラスの F V Z に、中型トラッククラス最高の 280 馬力を達成した 6HK1-TCS 型をはじめ、260 馬力の 6HK1-TCC 型、225 馬力の 6HH1-S 型の 3 種類のエンジンを設定した。

2.GVW10～13、5 トンクラスの F S R に、260 馬力の 6HK1-TCC 型、240 馬力の 6HK1-TCN 型、225 馬力の 6HH1-S 型の 3 種類のエンジンを設定した。 ショートキャブの F S R - S に は 225 馬力の 6HH1-S 型エンジンを設定した。

3.G V W 8 トンクラスの N Q R に、170 馬力の 4HK1-T 型、155 馬力の 4HJ1 型の 2 種類のエンジンを設定した。

(* 馬力数値はすべてネット値にて表示)

[平成 10 / 11 年排出ガス規制適合技術]

1.PM・黒煙を低減するために、エンジンそれぞれの特性に合わせ、高圧燃料噴射装置を採用した。

高圧燃料噴射は、燃料と空気の混合を促進することで、着火後はシリンダー内でムラなく燃焼し、すみやかに燃焼を終えるという、理想的な燃焼状態を形成する。

・6HK1-TC 系：「電子制御コモンレール式高圧燃料噴射システム」(最大 1200 気圧)

・6HH1 系：電子制御式高圧燃料噴射ポンプ「TICS (Timing and Injection rate Control System)」(最大 1200 気圧)

・4H 系：「新分配型高圧燃料噴射ポンプ」(最大 1200 気圧)

2.PM・黒煙を低減するために、6HK1-TC 系と 6HH1 系のエンジンに、吸排気 4 バルブ化、中央燃焼室化、燃料噴射ノズルの小噴口・多噴口化を図った。

3.NOx を低減するために、全てのエンジンで、運転状況に応じた噴射時期の制御を図った。

4.NOx を低減するために、EGR (排出ガス再循環装置) を 6HH1 系と 4H 系に採用した。

(4HJ1 型は電子制御式 EGR システムを採用)

[安全性]

1.S R S エアバッグ & プリテンショナー付シートベルト、衝撃吸収ステアリングホイールを全車型に標準装備とし、正面衝突時のドライバーへの衝撃緩和を図った。

2.急制動時や滑りやすい路面での制動時にタイヤロックを防止する ABS を G V W 10 ~ 18 トンクラスの全車型に標準装備し、制動時の車両姿勢の安定性を向上させた。GVW8 トンクラスの N Q R には L S P V (ロード・センシング・プロポーショニング・バルブ) を標準装備とした。

3.ブレーキドラムとライニングの隙間を一定に保つオートアジャスター付ブレーキを全車型に標準装備し、ライニング摩耗時のブレーキの効き遅れを防止させた。

4.駐車時に高い制動力を発揮するホイールパーキングブレーキを F T R、F V Z に標準装備、F S R、F S R - S にオプション設定し、坂道などでの駐車時の制動能力を向上させた。

5.G V W 1 0 ~ 1 8 トンクラスにフォグランプ一体型ディスチャージヘッドランプを標準装備し、夜間走行時の視認性を向上させた。(F S R、F S R - S のホイールベース G と F T R のホイールベース F にはオプション設定)

[シャシ]

F S Rにショートキャブの「フォワード-V」(F S R-S)を新規設定した。これにより標準キャブと同サイズの荷台を、ワンサイズ短いホイールベースに架装することが可能となり、取り回し性の向上を達成した。

[エクステリア]

1.GVW10~18 トンクラスのフロントオープンリッド部にラジエーターグリルと同様のデザインラインを追加した。また、エアダム一体式フロントバンパー(ターボ系とワイドキャブに標準装備)のデザインを一新し、力強いイメージとした。

2.GVW8 トンクラスのNQRのフロントグリルをメッキ仕様に変更し、上質感を持たせた